



## このアイコンをダブルクリック

**事前にJTDXのみでも良いので、LOGを作っておくと log.adi へのリンクの画面はです設定は終了です**

### 事前のLOGの作り方

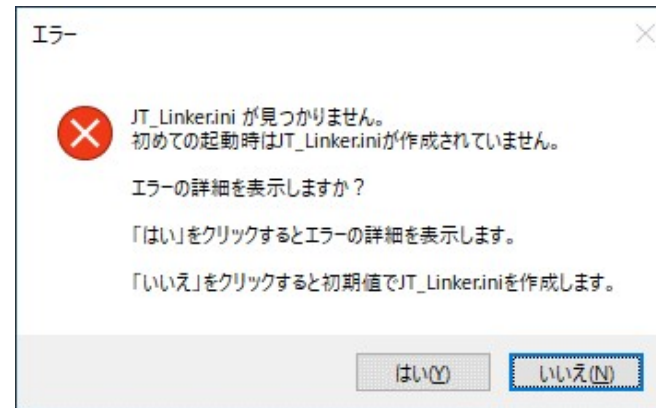
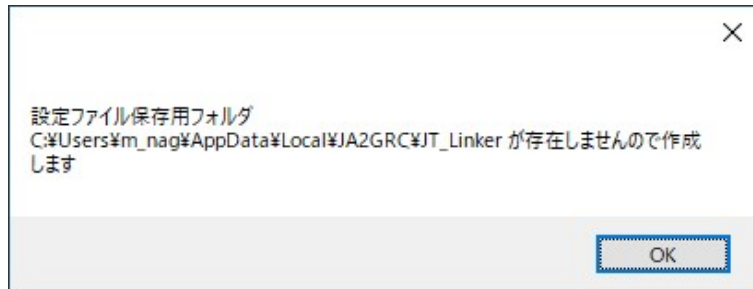
JTDXを立ち上げて、周波数表示の左下にある DX Call に仮に自分のコールを入力し、JTDX画面の ログに記録 ボタンを押す。

次に Log QSO という小さな画面が POP するので、その画面のOKを押して画面を閉じる。

JTDXのログがあるホルダーに2つのファイルが作成される。

wsjtx.log wsjt\_log.adi

このファイルが存在すると、最後の方のページ2枚分の設定は不要となります。



例外 No.53



JT\_Linker.ini が見つかりません。  
初めての起動時はJT\_Linker.iniが作成されていません。

OKをクリックすると初期値でJT\_Linker.iniを作成します。

エラーの詳細は以下の通りです。

処理： RdIniFile

発生： mscorlib

トレース： 場所 System.IO.\_\_ErrorWinIOError(Int32 errorCode, String maybeFullPath)

場所 System.IO.FileStream.Init(String path, FileMode mode, FileAccess access, Int32 rights, Boolean useRights, FileShare share, Int32 bufferSize, FileOptions options, SECURITY\_ATTRIBUTES secAttrs, String msgPath, Boolean bFromProxy, Boolean useLongPath, Boolean checkHost)

場所 System.IO.FileStream..ctor(String path, FileMode mode, FileAccess access, FileShare share, Int32 bufferSize, FileOptions options, String msgPath, Boolean bFromProxy, Boolean useLongPath, Boolean checkHost)

場所 System.IO.StreamReader..ctor(String path, Encoding encoding, Boolean detectEncodingFromByteOrderMarks, Int32 bufferSize, Boolean checkHost)

場所 System.IO.StreamReader..ctor(String path)

場所 JT\_Linker.Form1.ReadIniFile(String filePathInidata)

説明： ファイル

'C:\Users\m\_nag\AppData\Local\JA2GRC\JT\_Linker\JT\_Linker.ini'が見つかりませんでした。

OK

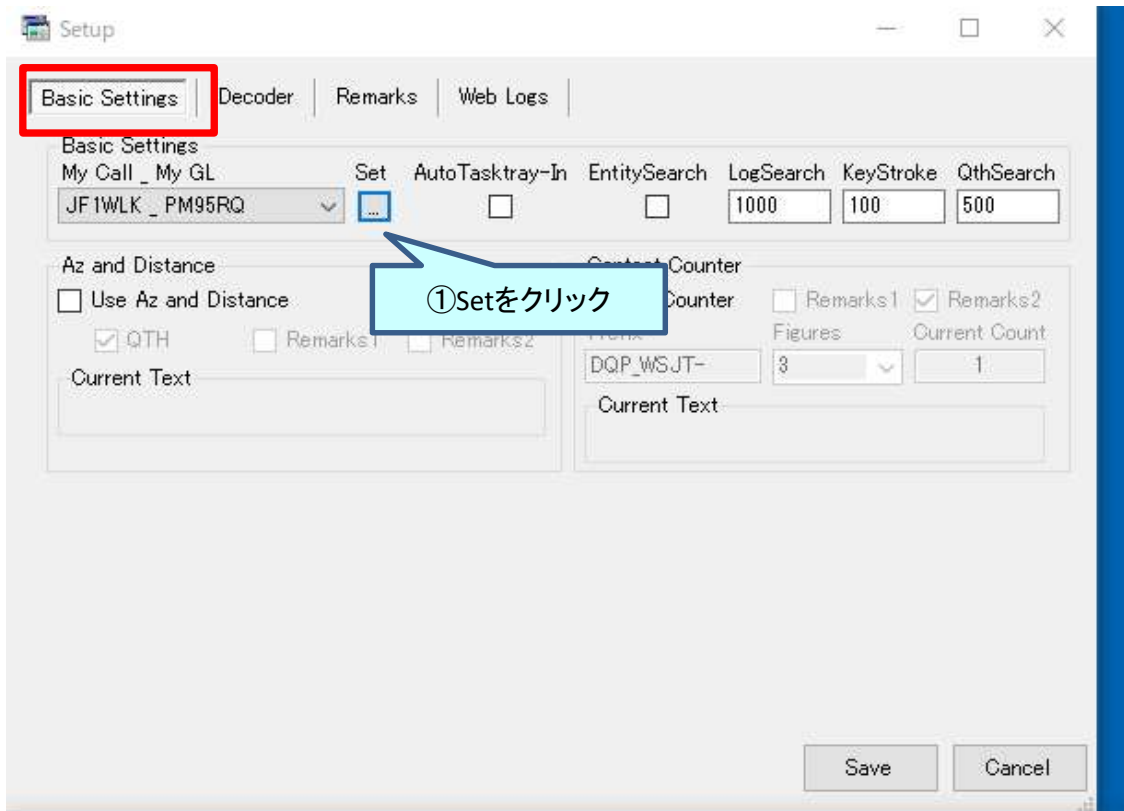
JT\_Linker



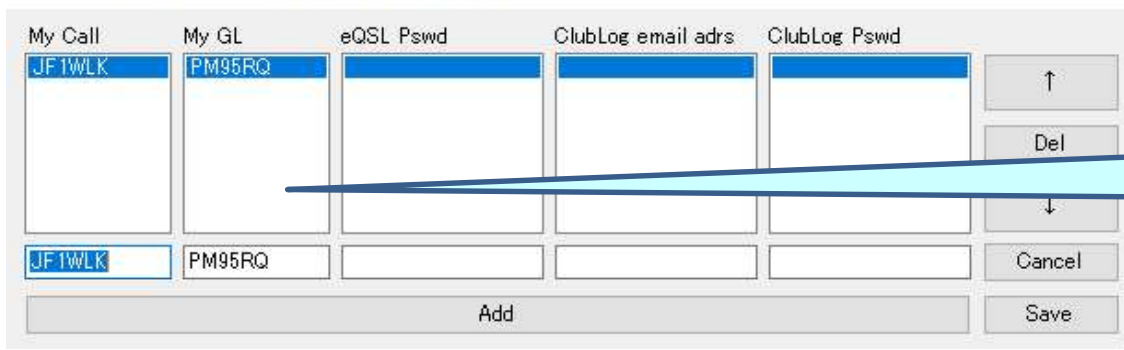
初期設定をして下さい。  
少なくとも、コールサイン、グリッドロケータ、デコーダ・ファイルパスを設定して下さい。

コールサインとグリッドロケータのペアは8つまで設定可能です。  
グリッドロケータは4桁または6桁が設定可能です。  
デコーダ・ファイルパスは少なくとも一つ以上設定してください。

OK



Set MyCall, My GL, eQSL Pswd and ClubLog Pswd



- ②コールとグリッド入力
- ③Addを押し上の枠に移動
- ④Saveで保存

ENDのチェックは最新のverでの機能追加で、下記の目的で使用しています。  
 QSO完了後にLOGに記載しますが、普通は交信のスタート時間ですが、FT8の場合、DXを呼び始めたので09:00分終了したのが09:40分。LOGへの記載は09:00分。40分の違いがあります。  
 DXの局はどうも開始時間の記録でなくて、終了時間の記録の様です。  
 この食い違いはLoTWだと無効になります。  
 DXを主にQSOされる方はDXと同じ、終了時刻の記載が良いと思います。  
 私は上記問題発生からチェックしてます。

LoTWにログを飛ばす場合は  
 チェックを外す

kHz (Out under kHz)

チェックありで秒まで  
 チェックなしで分まで  
 HAMLOGと合わずなら分

ログの場所の設定は最近は何もしなくても入力されるようですが  
 wsjt\_log.adiが存在しないと完了できない。

**事前にJTDXのみでも良いので、LOGを作っておくと log.adi へのリンクの画面ははず設定は終了です**

事前のLOGの作り方

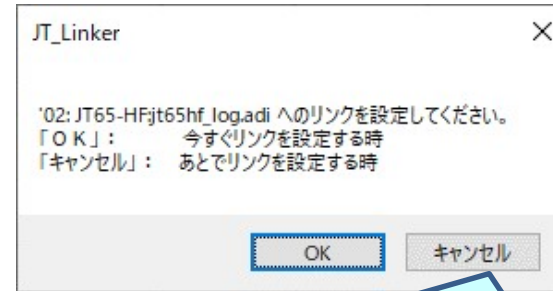
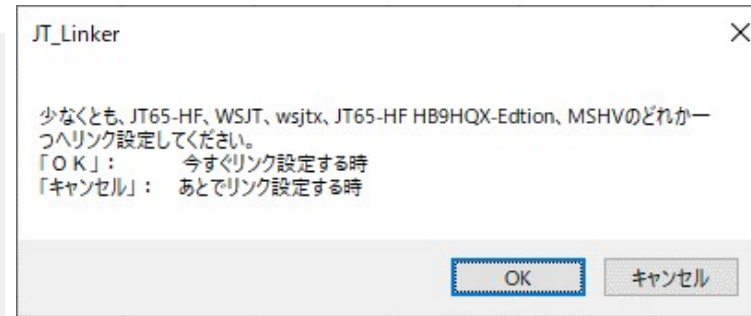
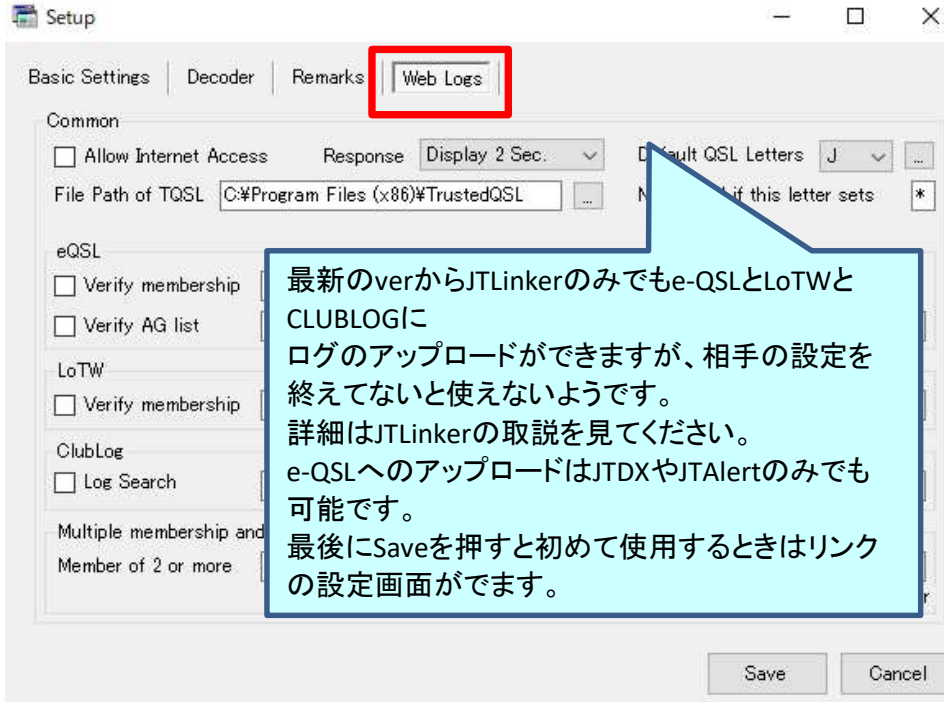
JTDXを立ち上げて、周波数表示の左下にある DX Call に仮に自分のコールを入力し、JTDX画面の ログに記録 ボタンを押す。

次に Log QSO という小さな画面が POP するので、その画面のOKを押して画面を閉じる。

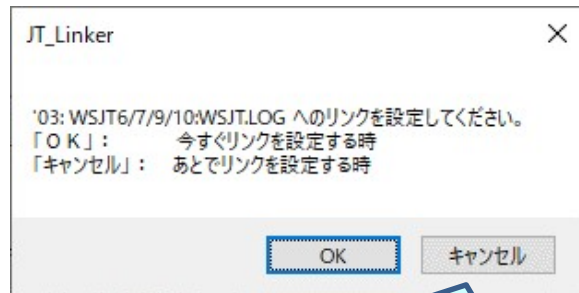
JTDXのログがあるホルダーに2つのファイルが作成される。

wsjtx.log wsjt\_log.adi

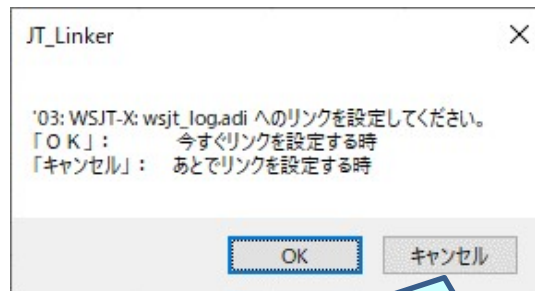
このファイルが存在すると、次のページ2枚分の設定は不要となります。



JT65-HFは使用しないのでキャンセル



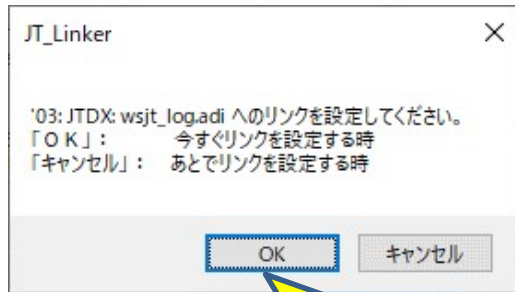
WSJTは使用しないのでキャンセル



WSJT-Xは使用しないのでキャンセル

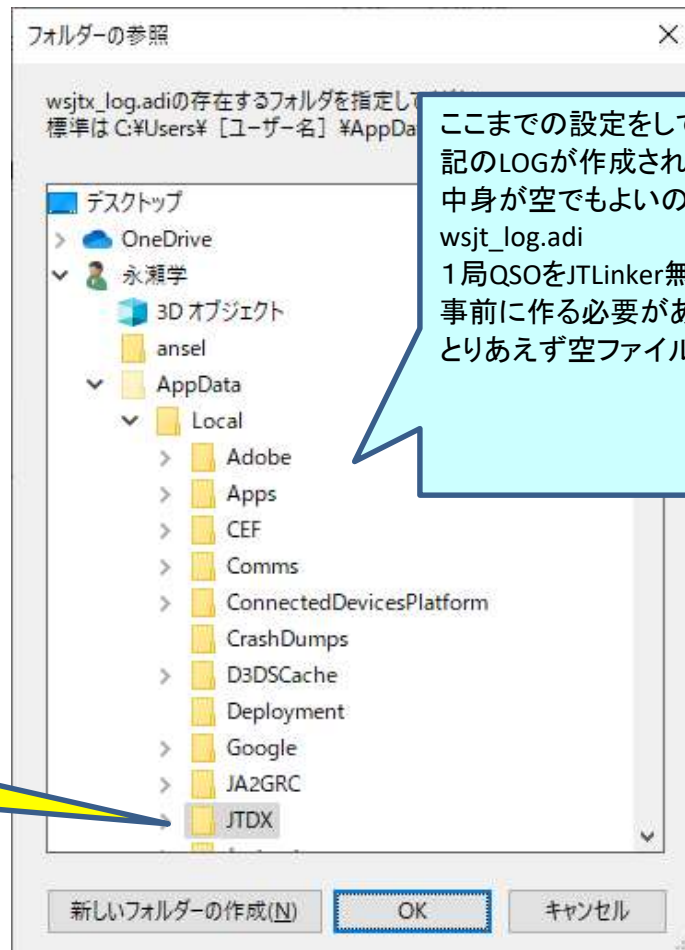


HB9HQXは使用しないのでキャンセル



JTDXは使用するのでOKを押します

JTDXが最初からマークされています



ここまでの設定をしても、JTDXのインストールだけでは下記のLOGが作成されない  
中身が空でもよいので下記を置くか wsjt\_log.adi  
1局QSOをJTLinker無しで実施しwsjt\_log.adiを事前に作る必要がある。  
とりあえず空ファイルを提供してみます。

設定が完了すると、DX: Link と表示されます

JT\_Linker - JF1WLK\_PM95RQ...(eQSL:X, LoTW:X, Club: ) Ver.2021.07.13f

Log (65-HF : -- , JT : -- , JT-X : Link , HQX : -- , DX : Link , MSHV : --)

His Call	<input type="checkbox"/> DX	Date (EXT)	Time	His	My	<input checked="" type="checkbox"/> Freq	Mode	GL	<input checked="" type="checkbox"/> QSL
							FT8	HisGL	J

Name  QTH  CQ  1  2

Remarks1  Remarks2

Setting:

Hamlog:  Send  Save  Save(Msg)